

この号の内容

- ① 医師臨床研修のあゆみ ～研修に旅立つ皆様方へ～
- ② 先輩からのメッセージ
- ③ 医療事故調査制度は進展するか
- ④ ディズニーランドが教えてくれた「お客様を大切に想う気持ち」
- ⑤ 「あきらめない」働くあなたに贈る真実のメッセージ



岡山県医師会

URL <http://www.okayama.med.or.jp/index.html>E-mail oma@po.okayama.med.or.jp

医師臨床研修のあゆみ ～研修に旅立つ皆様方へ～

岡山県医師会 会長 丹羽 国泰

臨床研修は、医師として学んできた医学知識の活用と医療技術の習得に必要な場所です。それ以上に医師としての使命を自覚し、全ての人に奉仕する心を養う、人間修練の場所でもあります。

毎日の臨床現場で、患者に相對するとき真摯に應對する態度が大切です。問診の方法、診察時の姿勢、患者への病状の説明、治療法、今後の方針等、真摯に、そして詳細に説明することを先輩から学んで欲しいと思います。

病んで来ている患者を、一人の人間として應對することが最も重要です。

私達も患者を診るのではなく、一人の人格のある人間として應對することを先輩から教えられてきました。

臨床研修は、医師としてだけでなく、人間としての人格を磨く、修練の場であると認識してください。日本医師会が掲げている「医の倫理綱領」を常に座右におき、日夜努力して頂きたいと思ひます。

先輩からのメッセージ

岡山県立市民病院 脳神経外科 高杉祐二 先生

こんにちは。岡山市立市民病院 脳神経外科に勤務しております高杉祐二と申します。わたしは、医師になって5年目になりますが、初期研修医時代もこの岡山市立市民病院で研修させていただきました。当時と現在とで大きく変化しつつある病院ですが、研修医時代の思い出と現在の様子をお伝えします。

研修医就職初日の4月1日、集合場所に集まり、研修する科が決まるとすぐに病棟に取り残されました。何をすれば良いかも分からないままモニタの前に立ち、慌ただしく仕事をしている看護師さんを眺めるだけでした。取り残されたようなあの時の気持ちを今でも覚えています。「何か教えてもらえる」という姿勢が間違いでした。臨床の現場では常に初めての出来事が訪れ、その初めてのことに一人の医師として勉強し、対応できるよう臨まないといけなかったのです。翌日からわたしは「今の自分にできること、学べることを学ぼう」

という、積極的に学びに行く姿勢に変わりました。まずは看護師さんのしている仕事、体位変換やおむつ交換、採血、褥瘡処置、エンジェルケアなど、一緒になってさせていただきました。また医師が行う処置もある日突然に命ぜられます。上級医がしている処置をしっかりと観察し、本で勉強し、急にやってくる本番に備えておくことが大切です。「患者さんに失礼のないよう、十分な前準備を常にしておくことが、医師としてのライフワークであり、そういう医師に自分の家族だったら診てもらいたいね。」と、ある上級医にご指導いただきました。

現在4～5年目の後期研修を、古巣の岡山市立市民病院へと帰ってきました。もっと専門性の高い研修と、初期研修時代に自分の医師としての礎を作ってくれたこの病院に貢献したいと思って帰ってきました。病院は新病院へ向けて夢のような構想が次々と挙がり、初期研修医当時よりさらに活発になった救急に驚きと、楽しみを感じました。

今後も岡山市立市民病院として、岡山市の医療を支える病院であり続けて欲しい病院であり、有望な若手医師の良き研鑽の場であってくれれば、卒業生として誇らしく思い続けられると思っております。

ミニレクチャー

医療事故調査制度は進展するか

● 一般社団法人日本医療安全調査機構 岡山地域代表 (岡山県医師会 副会長) **清水信義**

一般の事件の訴訟件数は急激に増加しているのに比べて、医療関係の訴訟はピークの平成16年の1,110件に比べて平成23年度は新規が767件と約30%減少しています。医療関係の訴訟は、判決による解決よりも和解による解決の方が高いことが言われており、この訴訟数の減少も、必ずしも事例の減少ではなく、訴訟に寄らない解決が少しずつ増えてきているとも言われています。リスクを伴う医療行為のなかで予期せぬ事態がおこる可能性は、医療の不確実性として、常に議論になっているところです。これが、一般の訴訟になじまないことは、社会的にも理解されてきているところだと思います。

外科系の領域では、診療に関連して患者さんが死亡することも稀には起こることであり、時にはこれが刑事事件に発展することもあります。しかし、前述のごとく診療中の重大事象は、例えば事故としても一般の社会的な事件とは異なるのではないかとこの異論も多く、2001年には日本外科学会は「診療行為に関連した異状死」について声明を出しました。

すなわち、診療行為における過失の有無の判断は専門的な証拠や資料に基づき公正に行われる必要があります。捜査機関がこれに相応しいとは考えることができません。学識経験者、法曹及び医学専門家等から構成される公的な中立的機関が判断すべきであり、かかる機関を設立するための速やかな立法化を要請するというものです。

これに続き、2004年には日本医学会科名19学会も次のような声明を発表しました。『医療の安全と信頼の向上のためには、予期しない患者死亡が発生した場合や、診療行為に関連して患者死亡が発生したすべての場合について、中立的専門機関に届出を行う制度を可及的速やかに確立すべきである。われわれは、管轄省庁、地方自治体の担当部局、学術団体、他の医療関連団体などと連携し、在るべき「医療関連死」届出制度と中立的専

門機関の創設を速やかに実現するため結集して努力する決意である。診療行為に関連して患者死亡が発生したすべての場合について、中立的専門機関に届出を行う制度を可及的速やかに確立すべきである。』

この様な医学会の要請から2005年に厚労省が「診療行為に関連した死亡の調査分析モデル事業」を、日本内科学会に委託して開始しました。このモデル事業は5年間の限定事業でしたが、更に延長され2010年から「一般社団法人日本医療安全調査機構」がこの事業を継続して実施しています。このモデル事業の目的は、1) 診療行為に関連した死亡における原因の究明、2) 再発防止策の立案・提言、医療関係者への還元による医療の質と安全性の向上、3) 第三者の評価による医療の透明性の確保、患者と医療者の相互信頼の向上、などです。

具体的なこの事業の流れは、付図のごとく、まず、死亡事例の発生した医療機関は、このモデル事業の有ることを遺族に伝え、その承諾を得て、この事業事務局に申し込みます。事業事務局では、受け入れるにふさわしい事例であれば、受付を行い各種の承諾書など記載して貰い所定の機関で解剖を行います。この解剖の肉眼所見は、当日口頭で遺族に説明されます。なお、解剖時には、当事者ではなく、別の臨床の専門分野の医師が、臨床立ち会い医として解剖に立ち会います。

その後、臨床評価医として専門分野の医師2名が加わり、それに、法律の専門家も加えて、これらのメンバーで地域評価委員会を構成し、解剖後提出される解剖報告書と臨床経過を調査して提出される臨床評価報告書をもとに、地域評価委員会を開催することになります。

現在このモデル事業は、全国の10地域で実施されており、中国四国地域では岡山地域で実施しています。全国では、170以上の死亡事例がこの事業で扱われており、この事業で扱った事例で報告書が出された48例では80%以上が、その後紛争になっていません。

第三者機関による医療事故の調査という仕組みが、事故の原因を公正に究明することができ、ひいては再発防止に結びつくものと考えます。

この事業はまだまだ地域に限られていることもあり、医療関係者にも十分には知られていませんが、将来、医療の信頼を確保し医療訴訟を減少させるひとつの手段となることを願っています。

事業の流れ

●第1段階:解剖

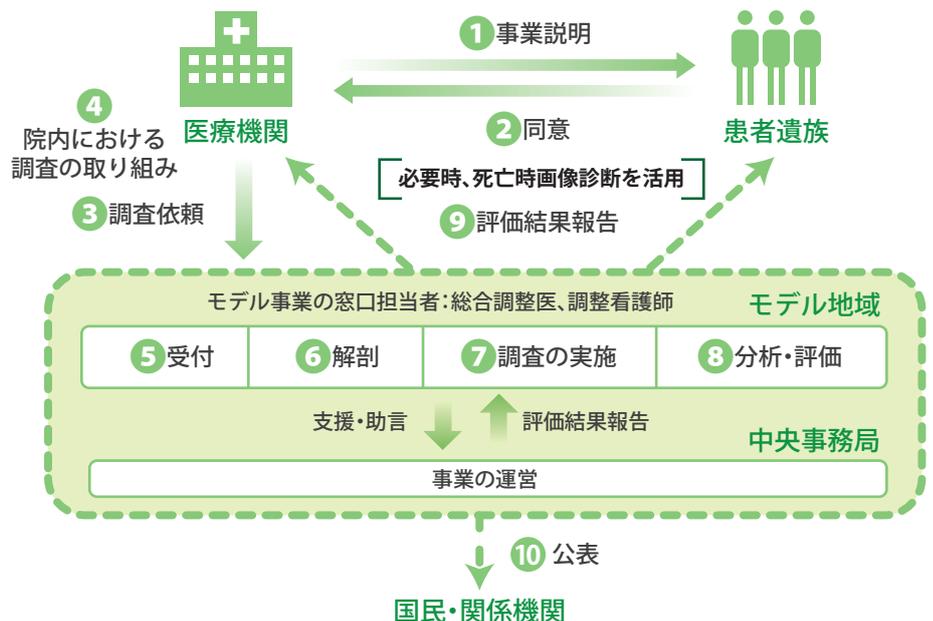
解剖契約病院等にご遺体を搬送し、第三者の法医・病理医・臨床立会医により、解剖を行います。

●第2段階:評価委員会

委員長・解剖担当医3名・評価委員2~3名・法律関係者等1~2名により、事例を評価分析します。

●第3段階:評価結果説明会 (受付後6ヵ月を目標)

医療機関と遺族へ、遺族が理解できるよう努めながら、評価結果を説明します。



なお、岡山地域事務局の連絡先は、電話086-272-3250です。

日医生涯教育講座

ディズニーランドが教えてくれた 「お客様を大切に想う気持ち」

◎ 有限会社加賀屋感動ストアマネージメント 代表取締役 **加賀屋 克美** 先生



夢と魔法の王国・東京ディズニーランド。
訪れたすべての人が笑顔になり、楽しい思い出を手に入れる。なぜそれほどまでに、ディズニーランドは魅力にあふれているのでしょうか？

ディズニーランドの全職種の全キャストは、一つの使命、「ゲストにハピネスを（お客様を大切に思いやり、喜んでもらう）」ということだけを胸に働いています。しかし、研修のトレーナーは「お客様を大切に思いやること

というのは、教育やマニュアルでは教えることはできない」と言ったのです。では、一体どうすればいいのでしょうか？トレーナーは続けてこう言ったのです。「それぞれみなさん、お誕生日や父の日、母の日など、家族や友達に優しさをあげたりもらったり、色んなことがこれまでであったでしょう。ということは、みなさんの心の中には相手を思いやる優しさの火が自然にずっと灯っていて、それが仕事の場面であったとしてもできるはずなのです。皆さんが過去に自然にできていることが仕事になったらできない、ということはないですよ。」

自発的に、「こうしてあげよう」と素の優しさや思いやりを持って行動することこそが真の思いやりのサービス、「ホスピタリティー」というのではないかと思います。これをディズニーでは大切にしているのです。

次に、ディズニーランドでは、仲間同士の気持ちの良い挨拶を欠かしません。1日気持ち良く仕事がしたいと思うなら自分から率先して元気よく挨拶をすれば良いのです。働く仲間の環境が良ければ必ずお客様にも同じように接することができるようになります。逆に言うと、働く仲間同士できちんとできていないと、その癖がお客様にも出てしまうのです。いつも仲間同士で顔を見ずに言葉だけで挨拶をしていると、病院で患者さんと呼ぶ時にそっぽ向いたまま名前を呼ぶだけになるのです。

次に大切なのは「清潔感」です。これはみなさんの医療機関でももちろん気をつけていらっしゃると思いますが、ディズニーランドではこんな徹底ぶりです。ディズニーランドは29年間やっておりますが、毎日徹底的に掃除をして開園した日に戻っています。掃除をしているというよりは、開園したそのピカピカでキレイな状態へ毎日の掃除で戻しているから、いつ行ってもキレイなのです。いつも色あせせず変わらないということ、それもサービスの一環だということです。

施設だけでなく、働く方達も同様です。いつも色あせせず変わらないことが大切です。ディズニーランドで働く人達がいつも色あせせず変わらないのは、役者が役を演じるように、キャストもショーの一部と考えられていて2万人ひとり一人がその役を演じているからです。だから、ディズニーランドでは働く人達を「従業員」と呼ばずに「キャスト（役者）」と呼んでいるのです。

素の優しさを仕事に活かすこと、それをどれだけ徹底的にできるかということが今すぐ色んな所で課題となっています。感謝したり、「ありがとう」と言うことがあればあるほど、感動の機宜が社会でも生まれると思います。当たり前のことばかりですが、是非、医療機関でもご参考にして頂けたら幸いです。

推薦図書

あきらめない 働くあなたに贈る真実のメッセージ

村木 厚子 著

◎ 岡山県医師会 理事 **神崎 寛子**



第一章 「あきらめない心」の原点

人見知りだった私が労働省に入るまでがむしゃらだった20代

第二章 仕事の軸が見えてきた

女性たちのネットワークに助けられて家族の絆
仕事で生きた育児体験
昇進のススメ

第三章 逮捕、勾留を支えたものは

逮捕そして勾留されて心のつかい棒は娘たち
折れない心の秘密

第四章 釈放・復職、そして今後のこと

やっとすべてが終わり、復職へ今、思うこと

【巻末資料】勾留生活164日間を支えた149冊 全リスト

村木さんからのメッセージです

30年以上働いて、子育てをすることを続けてきました。とりわけ、夫も私も両親が遠方に住んでいて、ほとんど頼れない状況の中で、何とか仕事を、家事・育児を両立してきました。「村木さんでもできた」、そういわれるモデルを作ろう、それが、自分が後輩たちに贈ることのできる唯一のプレゼントにするだろうと思っていました。

その最中での逮捕。自分のささやかな夢は壊されてしまったと思いました。
<中略>

仕事と育児というその平凡な日々での経験が、事件を巡る逮捕や拘留など想像もできなかった経験の中で、思わぬほど生かされたことをお伝えできれば、それも誰かの役に立つことがあるかもしれない、そんなふうに考えました。
<後略> [日経ウーマンオンラインの読者の皆さんへ より]

村木厚子さんは2009年の郵便不正事件で、虚偽公文書作成容疑等で逮捕・起訴され、2010年9月に裁判で無罪が確定し、1年3か月ぶりに厚生労働省に職場復帰された方だと思い出される方も多いと思います。

冤罪事件に関する話題も読みごたえはありますが、前半の仕事に対する思い、家庭との両立に関する話には私はひかれました。村木さんは「普通の女性のロールモデルになりたい」と思って仕事をされてきたと繰り返し書かれています。キャリア官僚のトップである局長になることが普通の女性になしえることとは思いますが、「大人になるということは、自分で食べていけるということ。そのためには、仕事しなくてはいけない。結婚するとしても仕事はずっと続けたい。」という学生時代からの思いに支えられて仕事をしてこられ、その結果がこれであったと言われたのだと思います。

最後に、少しだけ内容を紹介します。

- 「将来結婚や出産もあるから厳しい仕事は避けておこう」という考えはやめておいた方がよい。なぜなら、厳しくても自分がやりたいと思う仕事でなければ長続きしない。やりたい仕事、やりがいがある仕事だからこそ、工夫もし、がんばることができる。そんな役に立つ人材は会社も手放したくないから待遇も考えてくれる。
- 「結婚や出産はいつにしようか」と人生プランを考える人がいる。それぞれの職場の事情や個人の状況もあるので自分なりに人生設計を考えることは大事だが、思った通りにならないのが現実。そして人生は想定外の連続。だから、その都度与えられた状況の中で道を選択していけばよい。
- 「階段を一段上がると、見える景色が変わる」役職が上がっていく中で気づいたこと。力がついたら昇進するのではなく、昇進したから力がつくということなのかもしれない。昇進のオファーはその人がそれだけ優秀であり、才能や実績を認められているということ。オファーがあった段階で力はある。

第3回 Doctor's Career Café in OKAYAMA

「夢をかたちに…外科医になろう」

岡山県医師会外科部会・岡山外科医会合同講演会

平成24年3月28日(水) 無事終了いたしました。

■ 講演 1

「NSAID 投与による胃粘膜障害とリスクの対処について」

時末消化器科内科医院 院長 時末 充 先生

■ 講演 2

「岡山県肝炎協議会の肝炎撲滅運動について」

川崎医科大学肝臓内科学 教授 日野 啓輔 先生

■ 講演 3

「ハーバード大学教育病院での臨床経験」

山口宇部医療センター 外科系診療部長 岡部 和倫 先生

第4回 Doctor's Career Café in OKAYAMA

「子連れでも勉強しよう」

●日時：平成24年8月25日(土) 14:00～16:00

●場所：岡山大学病院 11F カンファレンスルーム

●プログラム：

☆産科レクチャー ～胎児超音波とNSTを学ぶ～

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 産科婦人科学教室 沖本 直輝 先生

☆婦人科レクチャー

～新たに始まったHPVワクチン、HPV検査等について～

広島市民病院産科婦人科 児玉 順一 先生

☆子育て中の悩みディスカッション

『子連れ常勤への道』

岡山赤十字病院産婦人科 大村 由紀子 先生

フリーディスカッション

■ 表紙の写真「夏の江ノ島ヨットハーバー」

撮影者 岡山大学病院 研修医2年 大林芳明先生

お知らせ

学会出席時に託児施設をご利用下さい

岡山駅前の託児施設に学会出席中の託児を特別料金でお願いしています。利用には岡山県医師会保育支援事業への申し込みと託児施設への事前予約が必要です。詳しくは岡山県医師会へお問い合わせ下さい。

岡山県医師会主催の教育講座等への出席の際の会場での無料託児は従来どおり行っております。ご利用下さい。

詳細は <http://www.okayama.med.or.jp/topcontents/joseishi/youkou.html>

岡山県医師会の ソーシャル・ネットワーキング・サービス



<http://sns.okayama.med.or.jp/> (Coming soon)

World No Tobacco Day 2012

毎年、世界保健機関（WHO）とその加盟国は、この日を記念する行事等を通じて、たばこがもたらす健康リスクを強調するとともに、たばこの消費削減に向けた効果的な政策への提言を行っています。



「タバコフリー岡山」へのご入会案内

「タバコフリー岡山」は県民、市民への禁煙啓発を一層進めようと、県内の医療関係者らが設立したボランティア組織です。

事務局 Tel 086 (223) 7746 (佐藤医院内)

<http://www.facebook.com/tobacco.free.okayama>

ML: tobaccofree-okayama-owner@yahooogroups.jp

年会費 1,000円

編集後記

梅雨も明け、夏休みを楽しんでいる学生の皆さん、初めて夏休みのない生活を送る臨床研修医の皆さんいかがお過ごしでしょうか。Good Doctor第4号をお届けします。

今号より、研修医の先生から頂いた写真を掲載することにいたしました。初回は岡山大学病院で臨床研修中の大林芳明先生の「夏の江ノ島ヨットハーバー」です。先輩からのメッセージは岡山市民病院で脳外科医として研修中の高杉祐二先生から寄稿いただきました。

ミニレクチャーは清水副会長の医療事故調査制度についてです。リスクを伴う医療行為には予期せぬ事態が起こる可能性が絶えず付きまといまふ。実際にこうし

た事態に遭遇してしまったときに、どうすることが医療側、患者側にとってお互いの信頼を保つことになるのかは常に考えていなければならないことです。

日医生涯教育講座からは生涯教育講座には珍しい接遇をテーマにした「ディズニールランドが教えてくれた『お客様を大切に思う気持ち』」を紹介します。

岡山県医師会ではソーシャル・ネットワーキング・サービス「プラタナスの木陰」の試用中です。医師・医学生専用のSNSを利用してみたいとお思いのグループの方は岡山県医師会事務局(oma@po.okayama.med.or.jp)へお申し込みください。(試用中ですのでまだ、サイトからの申し込みはできません。招待メールをお送りいたします。)

Doctor's Career Café in OKAYAMAも引き続きで開催いたします。「子育て中の女性医師をサポートする会」はメインが産婦人科で、8月25日(土)に開催予定です。「医学生・研修医をサポートする会」の今年のテーマは男女共同参画です。